

子どもたちの心に「青のまち」を。



そもそもなぜ
「青のまち」?

日本有数の水揚げ量を誇るアジ
サバ。約25万人を受け入れた民泊

体験。日本初・海底の国史跡。松浦

市が全国に誇る3つの魅力!! 青
魚、海山の民泊体験、海底史跡を
1つにまとめて「青のまち」。青を
イメージカラーに全国へ魅力発信
しています。青は心を落ち着ける
効果があり、初めて訪れた時も慣れ
親しんだ地元のように感じさせる
あなたかな風土にもぴったりです。

青大新聞

Vol.10

当たり前が、特別。
日々の魅力を再認識する
「青のまち」。

市のイメージソング「青のまち」
は、フォーエクデュオ KAZUTOMO
の岩佐一成さん（調川町出身）が、
自身が市を離れて改めて感じた
故郷の魅力や家族のあたたかさ
を書き綴った曲です。故郷が変

わらずにあることさえ当たり前
ではなくなりつつある今。当た
り前の日々の中にあるしあわせ
を再認識させてくれると感想が
届いています。

いつかヒターンの きつかけに。

曲の完成から3年、市内小

中学校や幼稚園、お祭りなどで
イメージソングの普及活動を行
ってきました。今年は、1月
4日の成人式でも披露します。

「青のまち」が、子どもたちが
離れてから故郷に思いを寄せる
きっかけの一つになればと願つ
て…今年も「青のまち・松浦市」
の魅力発信、頑張ります！



イメージソング「青のまち」は YouTube で配信しています。

青の大学ホームページのトップページからもお聴きいただけます♪ ご家族でぜひご覧ください！

松高だより

■全九州高等学校総合文化祭鹿児島大会

12月7日から9日にかけて、鹿児島市で第2回全九州高等学校総合文化祭鹿児島大会が開催されました。

この大会の弁論部門に、11月16日に長崎市で行われた長崎県高等学校弁論大会（長崎県高等学校総合文化祭弁論部門）で優秀賞（第2位）に輝いた廣川和魅さん（2年）が長崎県代表として出場しました（演題は「Vocal minority」）。

普段は吹奏楽部員として活動し、本格的な弁論大会への出場経験がほとんどなかった廣川さんでしたが、大会では堂々とした弁論を披露し、聴衆を唸らせました。



また放送部門には、11月12日に長崎市で開催された九州高校放送コンテスト長崎県大会のテレビ番組部門で最優秀賞に輝いた本校放送部の田中美江さん（2年）制作の番組と、ラジオ放送部門で優秀賞を受賞した同じく放送部の早田幸多くん（2年）制作の番組が出場し、田中さん制作の番組「3番目の居場所」が3位に入賞しました。

なお、田中さんは来年の7月31日から佐賀県基山町で開催される全国高等学校総合文化祭佐賀大会（2019さが総文祭）にも長崎県代表として出場する予定です。





温かい心ありがとうございます

一般寄付

- 松浦市へ福祉車両4台
● 松浦市社会福祉協議会へ金一封
【本所】
○ 梅本 憲二様（調川・江口1）
亡父 昭雄様
【福島支所】
○ 石森 智也様（福島・浅谷）
亡伯母 オサコ様
○ 木寺佐和記様（福岡県福岡市）
亡母 良子様
【鷹島支所】
○ 大石 昌春様（鷹島・中通）
亡祖母 ミカ様
○ 市原 義光様（鷹島・中通）
亡妻 郁子様
○ 澤邊 文枝様（鷹島・阿翁浦）
亡夫 博士様
● 志佐上志佐地区社会福祉協議会へ金一封
○ 尾野 一男様（志佐・下高野）
亡妻 久子様
○ 熊本タカ子様（志佐・旭町）
亡夫 隆造様
○ 田口 博美様（志佐・西山）
亡夫 政敏様



戸籍だより

11月6日～12月6日届出（敬称略）※希望者のみ掲載

お誕生日おめでとう

ご冥福をお祈りいたします

ご結婚おめでとう